

KENWOOD

5.8 inch ワイドインダッシュテレビCDプレイヤー

VZ907

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



© PRINTED IN JAPAN B64-1240-00(+)
99/6 5 4 3 2 1 98/12 11 10 9 8 7 6 5



C O N T E N T S

安全・使用上のご注意

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7

パネルのボタン操作

モニターのオープン/クローズ	10
モニター映像の切り替え	11
オーディオソースの操作	
■音声の切り替え	12
■CD/MDの操作	12
■テレビの操作	13
■FM/AMの操作	13
■CD/MDチェンジャーの操作	14
■テープの操作	14

タッチパネルの操作

TV映像時のタッチ操作	15
スクリーンコントロール画面の操作	16
メニュー画面の操作	17
セットアップ画面の操作	18
■システム画面の操作	18
■時計調整画面の操作	20
■タッチパネル調整画面の操作	20
オーディオコントロール画面の操作	21
ソースコントロール画面の共通操作	23
TVコントロール画面の操作	24
FM/AMコントロール画面の操作	26
CDコントロール画面の操作	28
MDコントロール画面の操作	29
CD/MDチェンジャーコントロール画面の操作	30
CD/MDディスプレイ切り替え画面の操作	33
テープコントロール画面の操作	34
DSPコントロール画面の操作	
■DSPセレクト画面の操作	36
■SFCコントロール画面の操作	36
■ポジションコントロール画面の操作	37
■イコライザーコントロール画面の操作	37
ネームセット画面の操作	38

付録

リモコンの操作	40
取り付け/接続時のご注意	41
取り付けかた	42
接続のしかた（本機の接続）	43
接続のしかた（他機器との接続）	44
故障かな？と思ったら	45
保証とアフターサービス	47
仕様一覧	48

本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。
実際の画面とデザインが異なります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全・使用上の注意

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



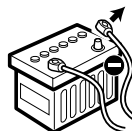
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取り付け用部品をご使用ください。取り付け用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



警告



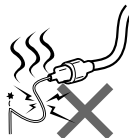
禁止

アースコードをステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆がやぶれやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウinker、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品に接続しているケーブルのヒューズまたは車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、ネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



注意

運転者は、モニターの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。
また、以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・テレビやビデオを見る
- ・登録や各設定などの操作



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

安全・使用上の注意

警告



実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災や感電、その他の事故の原因となります。



実施

修理は必ず＜お買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店に依頼してください。



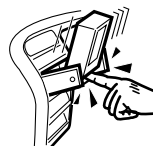
禁止

- ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。割れてけがをするおそれがあります。
- 液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。



注意

モニターディスプレイの開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



注意

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、乾電池の使い方を間違えますと液漏れや破裂のおそれがあり、製品の故障や怪我などの原因となりますので、以下のことを必ず守ってください。

- 乾電池は充電しないでください、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池の交換の際は極性(⊕ ⊖)を正しく合わせてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、他の種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池はすぐに製品から取り出してください。
- 乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



禁止

本製品を車載用としての用途以外では使用しないでください。

使用上のご注意

■安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

■本機からタッチコントロールできるナビゲーションシステム

本機でタッチコントロールできるナビゲーションシステムは下記の通りです。
(1998年5月現在)

GZ-1000、GZ-500

GPR550、GPR-77、NV990、NV900

GPR-03EX*¹、GPR-03*¹

(*¹: I/F変換ケーブルKNA-IF35が必要です。)

■本機からタッチコントロールできるオーディオシステム

本機でタッチコントロールできるオーディオシステムは下記の通りです。

(1998年5月現在)

MZ-BUSシステム：A707、MZ907、M707、Z707、D707、X707、C710、C706、P707

MX-BUSシステム*²：M505、Z505、D505、X505、C510、C506、MD56

(*²：BUS変換ボックスCA-57ZXが必要です。)

■バッテリー上がりを防ぐため

エンジンをかけないで、エンジンキーをONまたはACCの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗します。エンジンをかけてからご使用ください。

■モニターの保管とお手入れ

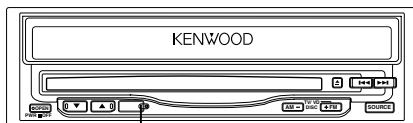
- モニターをオープンした状態で、高温の場所に放置しないでください。
- 画面が汚れたときには、シリコンクロスや、やわらかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、キズがついたり、塗装面が剥げたり、文字が消える場合があります。

■低温時の画面の明るさについて

冬季など本機の温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。しばらく使用していますと通常の明るさに戻ります。

■リセットボタンについて

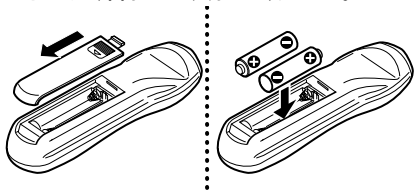
- 本機を初めて使うときや、ナビゲーションシステムを接続したとき、バッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。
- ご使用中にセットの異常にお気づきのときは、リセットボタンを押してください。それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

■リモコン電池の入れかた

付属の乾電池（単4型2本）を⊕ ⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



- 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、電池が消耗していることが考えられます。このようなときは、2個とも新しい電池と交換してください。新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。なお、付属の乾電池はチェック用のため、寿命が短いことがあります。
- リモコンを高温になる場所に放置しないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意

■ 使用できないCD

記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレイヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。




安全・使用上の注意

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



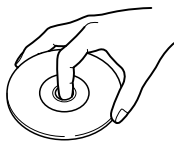
記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

 マークの付いているCD以外は使用しないでください。

■ CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



■ CDの保存

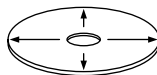
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。

きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

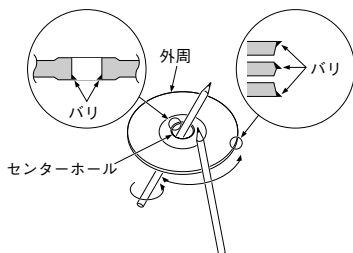
■ CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



■ 新しいCDを使用するときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

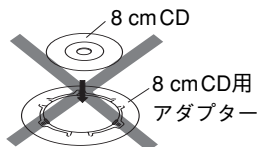


■ CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



■ 結露について

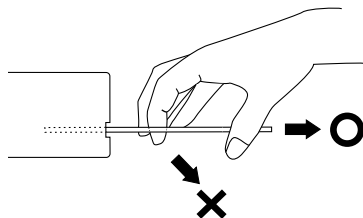
寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

■ 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

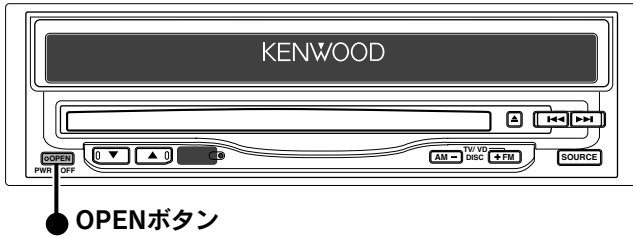
■ CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



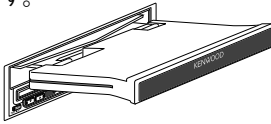
安全・使用上の注意

モニターオープンクローズ



■モニターを出す。

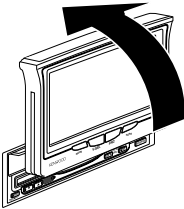
1. 車両のパーキングブレーキを引きます。
2. OPENボタンを押すとモニターが出てきます。



モニターが出てくる時にシフトレバーなどにモニター部が干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。(障害物に当たりモニターが正常に出ることができない場合は自動的にモニターは収納されます。)



3. モニターが完全に出了ら、モニターを手で起こして、見やすい角度に合わせてください。



- パーキングブレーキを引かないとモニターは出てきません。
- モニターをオープンして、起こさなかった場合は15秒後に自動的に収納されます。

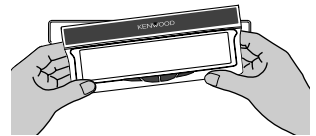
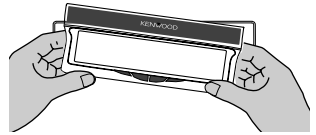


- モニターが車両のハザードスイッチなどを押さないように、注意してください。
- 無理な力でモニターを起こさないでください。



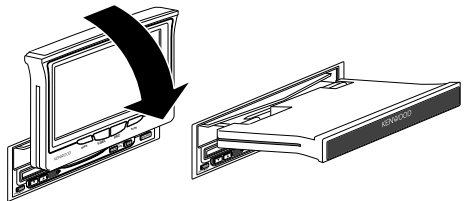
■左右の角度を調整する

モニターの両側を手で持って、見やすい角度に調整してください。



■モニターを収納する

左右の角度をセンターにして、モニターを完全に水平の位置まで倒します。2秒後自動的にモニターが収納されます。

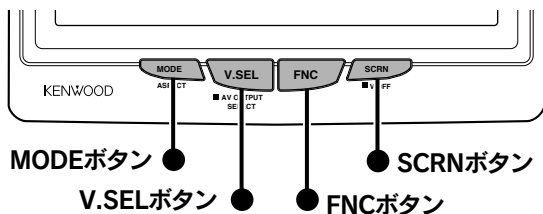


- モニターを倒してから左右の角度をセンターにした場合は、自動的に収納されません。この場合はOPENボタンを押してください。モニターが収納されます。
- 電源がオフの状態でも、モニターは収納することができます。
- 電源をオンにしたときのモニターのスライド位置が設定できます。(16ページのスクリーンコントロール画面をご覧ください。)
- モニターを出した状態で、電源を入れ直すと初期の位置を検出するためスライド機構が数秒間動作します。

■電源をオフ

OPENボタンを1秒以上押すと本機の電源がオフになります。
電源をオンにするときはOPENボタンを押します。

モニター映像の切り替え



■ モニターの映像を切り替える

V.SELボタンを押すごとにモニターの映像が下記のように切り替わります。

- TVコントロール画面 (24ページ) でTVバンドを選択している場合

テレビ ← ナビゲーション

- TVコントロール画面 (24ページ) でビデオを選択している場合

ビデオ1またはビデオ2 ← ナビゲーション

■ AV出力の映像を切り替える

V.SELボタンを1秒以上押すごとにAV出力の映像が下記のように切り替わります。(切り替えをすると現在の設定が表示されます。)

- ▼ NORMAL : TVコントロール画面(24ページ)で選択している映像
- ▼ TV : テレビの映像
- ▼ VIDEO 1 : AV-IN1端子に入力された映像
- ▼ VIDEO 2 : AV-IN2端子に入力された映像

メモ A707またはセンターユニット接続時は、AV出力の音声も同時に切り替わります。

■ スクリーンコントロール調整画面の表示

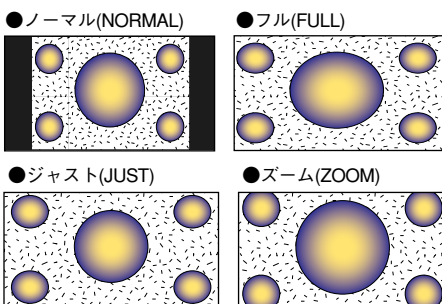
SCR.Nボタンを押すと、スクリーンコントロール画面が表示されます。●16ページ

メモ スクリーンコントロール画面は映像の画質やモニターのスライド位置を調整する画面です。

■ 画面モードを切り替える

MODEボタンを押すごとに画面モードが下記のように切り替わります。

▶ ノーマル ▶ フル ▶ ジャスト ▶ ズーム ◀



- ワイド対応ナビゲーション映像や本機内蔵のグラフィック画面映像時は操作できません。
- ノーマル画面のナビゲーション映像で、ノーマルモード以外を選択している場合は、画面にタッチすると一時的にノーマルモードに戻ります。

パネルのボタン操作

■ グラフィック画面の表示

FNCボタンを押すと、本機内蔵のグラフィック画面 (ソースコントロールやメニュー画面) が表示されます。

■ グラフィック画面の背景モード切り替え

内蔵のグラフィック画面表示時は、FNCボタンを押すごとに背景の表示モード (7種類) が切り替わります。

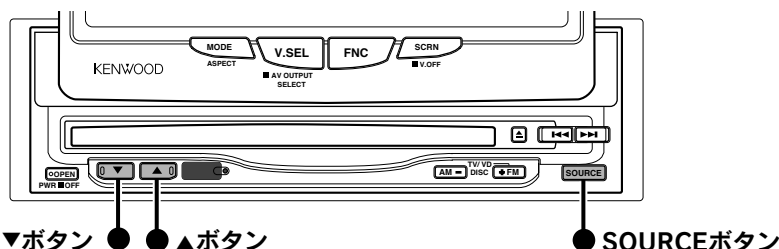
■ モニター映像のオフ

SCR.Nボタンを1秒以上押すと、モニターの映像がオフになります。

メモ モニタパネル上のボタンを押したときや、モニターを倒して再度起こしたとき、エンジンキーを入れ直した場合は、再び映像が映し出されます。

オーディオソースの操作

音声の切り替え



パネルのボタン操作

■ 音声ソースを選択する

SOURCEボタンを押すごとに、本機および接続しているユニットのソースモードが切り替わります。



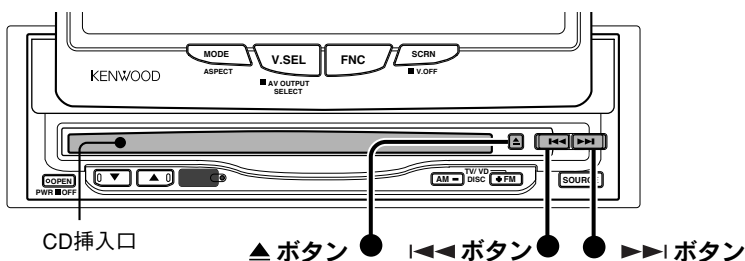
- A707やセンターユニットを接続していない場合はFMトランスミッターの音声切り替わります。
- A707やセンターユニットを接続している場合はオーディオスピーカーの音声切り替わります。

■ 音量の調整

(A707またはセンターユニット接続時)

- ▲ボタンを押すごとに音量が大きくなります。
- ▼ボタンを押すごとに音量が小さくなります。

CD/MDの操作 (MDはMDセンターユニット接続時)



■ 本機にCDをセットする

CDをレーベル面を上にして、挿入口に差し込んでください。CDが引き込まれます。



注意

モニターが出ている状態でCDを挿入するときは、モニターの底面や機構にCDが当たらないようにご注意ください。CDに傷が付くことがあります。

■ 先の曲を選ぶ

- ▶▶Iボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶Iボタンを押し続けると現在の曲を早送りします。

■ 手前の曲を選ぶ

- I◀◀ボタンを1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- I◀◀ボタンを押し続けると現在の曲を早戻します。

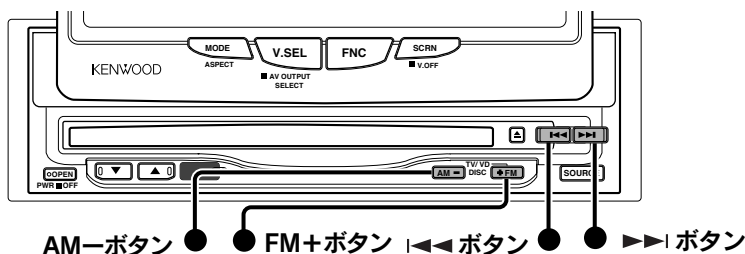
■ CDを取り出す

- ▲ボタンを押すと本機にセットされたCDがイジェクトされます。



選曲の操作は、本機と接続しているMDやCDプレイヤーの演奏中も同様に操作できます。

テレビの操作



■ 放送局を選ぶ

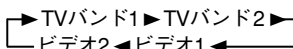
- ▶▶1ボタンを押すごとにチャンネルの高い方の放送局を選局します。
- 1◀◀ボタンを押すごとにチャンネルの低い方の放送局を選局します。



選局方法の設定により動作が異なります。詳しくは、24ページをご覧ください。

■ テレビとビデオを切り替える

FM+ボタンを押すごとに下記のように切り替わります。

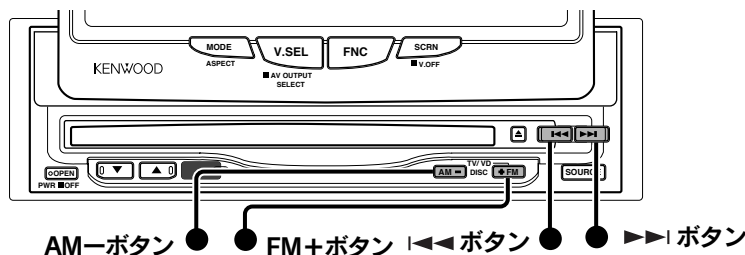


■ 音声多重放送のメインとサブ音声を切り替える

音声多重放送受信時は、AM-ボタンを押すごとにメイン音声とサブ音声切り替わります。

パネルのボタン操作

FM/AMの操作 (A707およびセンターユニット接続時)



■ FMバンドを選ぶ

FM+ボタンを押すとFMバンドに切り替わります。



- A707接続時は押すごとにFM1、FM2、FM3に切り替わります。
- センターユニット接続時は切り替わるバンド数が異なります。詳しくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

■ 放送局を選ぶ

- ▶▶1ボタンを押すごとに周波数に高い方の放送局を選局します。
- 1◀◀ボタンを押すごとに周波数に低い方の放送局を選局します。



選局方法の設定により動作が異なります。詳しくは、26ページをご覧ください。

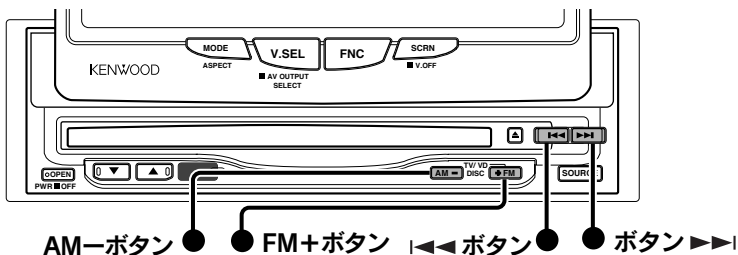
■ AMバンドを選ぶ

AM-ボタンを押すとAMバンドに切り替わります。



センターユニット接続時は切り替わるバンド数が異なります。詳しくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

CD/MDチェンジャーの操作 (CD/MDチェンジャー接続時)



パネルのボタン操作

■ 先の曲を選ぶ

- ▶▶| ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶| ボタンを押し続けると現在の曲を早送りします。

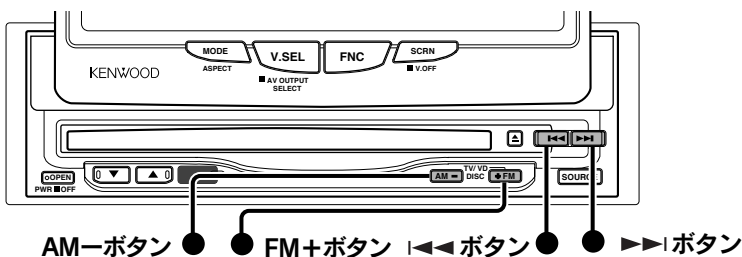
■ ディスクを選ぶ

- FM+ ボタンを押すごとに先のディスクにサーチします。
- AM- ボタンを押すごとに手前のディスクにサーチします。

■ 手前の曲を選ぶ

- |◀◀ ボタンを1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- |◀◀ ボタンを押し続けると現在の曲を早戻します。

テープの操作 (テーププレイヤー接続時)



■ 先の曲を選ぶ

- ▶▶| ボタンを押すごとに先の曲を選びます。

■ 早送り、巻き戻しをする

- FM+ ボタンを押すとテープを早送りします。
- AM- ボタンを押すとテープを巻き戻します。

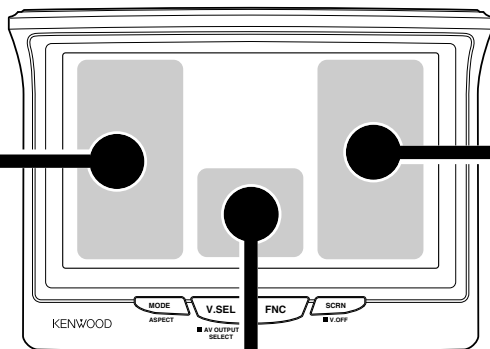
■ 手前の曲を選ぶ

- |◀◀ ボタンを1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前曲を選びます。



早送り、巻き戻しの解除はテープコントロール画面 (34ページ)、またはセンターユニットで行ってください。

TV映像時のタッチ操作



タッチするとチャンネルの低い方の放送局を選局します。

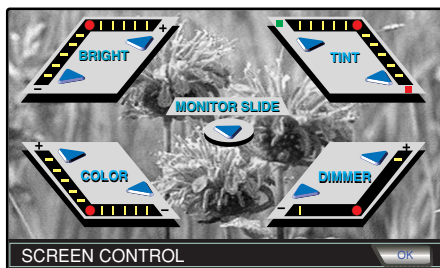
タッチするとチャンネルの高い方の放送局を選局します。

タッチすると、現在のオーディオソースや映像の状況、ビデオアウトの設定などを映像に重ねて表示します。(オンスクリーン機能)



- チャンネルの選局は選局方法の設定により動作が異なります。詳しくは、24ページをご覧ください。
- 選局中は選局モード、TV/バンド、受信チャンネルが5秒間表示されます。
- オンスクリーン機能は設定により、オートとマニュアル動作が選択できます。詳しくは19ページの「システムセットアップ画面の操作」をご覧ください。なお、ナビゲーション映像時は画面タッチによるオンスクリーン機能は動作しません。

スクリーンコントロール画面の操作

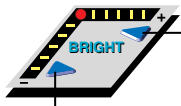


スクリーンコントロール画面の表示

モニターパネルのSCRNボタンを押すとスクリーンコントロール画面が表示されます。

■明るさ調整 (BRIGHT)

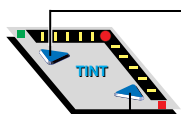
タッチパネルの操作



タッチするごとに映像が明るくなります。

タッチするごとに映像が暗くなります。

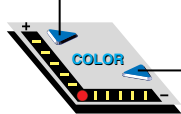
■色合い調整 (TINT)



タッチするごとに映像の緑色が強くなります。

タッチするごとに映像の赤色が強くなります。

■色の濃さ調整 (COLOR)



タッチするごとに映像の色が濃くなります。

タッチするごとに映像の色が薄くなりモノクロに近くなります。

■スクリーンコントロール画面の終了

OK にタッチするとスクリーンコントロールが終了します。



- モニターパネルの他のボタンを押してもスクリーンコントロールは終了します。
- 車両のライトオン/オフでもスクリーンコントロールは終了します。
- 『Parking off』や『Navigation off』と表示されているときはSCRNボタンを押してもスクリーンコントロール画面は表示されません。
- スクリーンコントロール画面が表示されているときは、ナビゲーションのタッチコントロールはできません。

■夜画面の明るさ設定 (DIMMER)



タッチすると映像が明るくなります。

タッチすると映像が暗くなります。

夜間の明るさは3段階で設定できます。



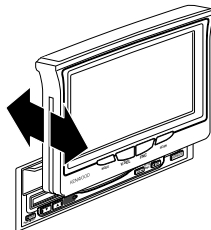
- 車両のライトがオフのときや、イルミネーションケーブルを接続していない場合はDIMMERの調整はできません。
- 調整した画質の設定はテレビ、ビデオ1、ビデオ2、ナビゲーション画面ごとに、昼/夜画面別にメモリーできます。
- ナビゲーション画面やソースコントロールなどのグラフィック画面は、COLOR (色の濃さ)、TINT (色合い)の調整はできません。

■モニターのスライド調整 (MONITOR SLIDE)



にタッチするごとにモニターが前後にスライドします。

設定した位置がメモリーされます。



メニュー画面の操作



■ システムセットアップ画面の表示



にタッチするとセットアップ画面に切り替わります。

☛18ページ

■ オーディオコントロール画面の表示



にタッチするとオーディオコントロール画面に切り替わります。☛21ページ



● A707またはセンターユニットを接続していない場合は表示されません。

● ソースモードがALL OFFなど、オーディオ調整ができないときは表示に網がかかり操作できません。

■ DSPコントロール画面の表示



にタッチするとDSPコントロール画面に切り替わります。

☛36ページ



● DSPユニットを接続していない場合は表示されません。

● 交通情報 (TI) 受信中やALL OFF中など、DSPの設定ができないときは表示に網がかかり操作できません。

■ メニュー画面の終了



にタッチすると現在聴いているソースコントロール画面に切り替わります。

メニュー画面の表示

お買い上げ時はFNCボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

■ ソースコントロール画面の表示

下記のソースマークにタッチすると各ソースコントロール画面を表示します。

現在選択しているソースのマークは水色で表示します。



：TVコントロール画面を表示します。

☛24ページ



：FM/AMコントロール画面を表示します。☛26ページ



現在のソースモードがFM/AMのときはタッチするとALL OFFモードになります。



：CDコントロール画面を表示します。☛28ページ



：MDコントロール画面を表示します。☛29ページ



：CDチェンジャーコントロール画面を表示します。☛30ページ



：MDチェンジャーコントロール画面を表示します。☛30ページ



：テープコントロール画面を表示します。☛34ページ



：ナビゲーションモードになります。(地図ディスクのIISやビデオCDの音声を聴くモード)



：ソースが一時停止状態になります。(ALL OFFモード)



● TVやCD、ALL OFF以外のソースマークは接続しているシステムにより表示します。

● ディスクチェンジャーは、2台まで操作できます。(2台接続する場合はディスクチェンジャーの1-2スイッチ切り替えが必要です。)

● ディスクやテープをイジェクトした場合はソースマークに網がかかり操作できません。

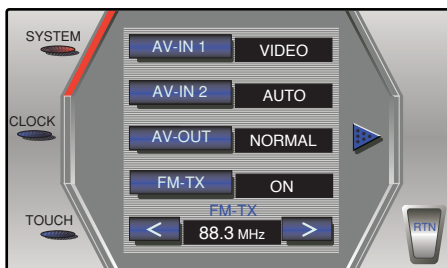
● ナビゲーションのマークはIISやビデオCDの音声が入力されていない場合は網がかかり操作できません。

● ソースマークが9個以上になった場合は、表示されているソースマークが7個になり、下記のソース送りマークが表示されます。このマークにタッチすることによって、重なっているソースマークを送って表示します。



セットアップ画面の操作

システム画面の操作



タッチパネルの操作

■ 設定リストの切り替え

◀ または ▶ にタッチするごとに設定リストが切り替わります。

メモ ▶ または ▶ が表示されない場合は、次または前の設定項目はありません。

■ AV入力1の設定

AV-IN 1 にタッチするごとにAV IN1端子の入力設定が『NAV』と『VIDEO』に切り替わります。

- 『NAV』に設定する場合
AV IN1端子に当社製以外のナビゲーションシステムを接続しているときに選択します。
- 『VIDEO』に設定する場合
AV IN1端子にビデオデッキなどを接続しているときに選択します。

■ AV入力2の設定

AV-IN 2 にタッチするごとにAV IN2端子の入力設定が『AUTO』と『MANUAL』に切り替わります。

『AUTO』に設定している場合は、AV IN2端子に映像信号が入力されるとモニターの映像をビデオ2へ自動的に切り替え、映像信号が無くなると元の映像に戻ります。

メモ 本機能の動作中にV_SELボタンなどを操作して他の映像に切り替えた場合は、オート機能は動作しません。(映像信号が無くなっても元の映像には戻りません。)

■ AV出力の設定

AV-OUT にタッチするごとにAV出力端子に接続しているモニターの映像が下記のように切り替わり、モニターの映像にかかわらず常に出力されます。

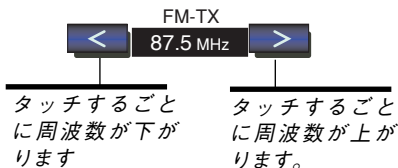
- ▼ NORMAL : TVコントロール画面で選択した映像
- ▼ TV : テレビの映像
- ▼ VIDEO 1 : AV-IN1端子に入力された映像
- ▼ VIDEO 2 : AV IN2端子に入力された映像

メモ A707やセンターユニットを接続している場合は、音声も同時に切り替わります。

■ FMトランスミッターの設定

FM TX にタッチするごとに内蔵のFMトランスミッターが『ON』(使う)と『OFF』(使わない)に切り替わります。

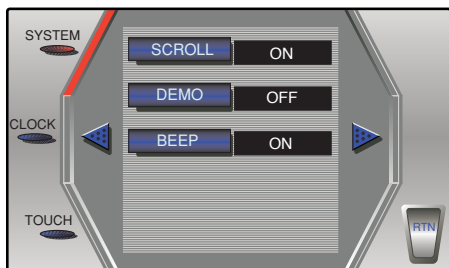
『ON』にすると周波数が表示され、下記のように送信周波数を調整することができます。



タッチするごとに周波数が下がります

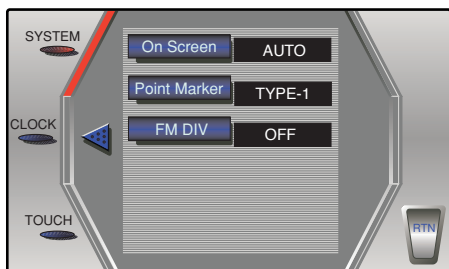
タッチするごとに周波数が上がります

- メモ**
- A707やセンターユニットに接続している場合は、FMトランスミッターの設定は表示されません。
 - 送信周波数は87.5～89.9 MHzの範囲で0.1ステップずつ切り替えることができます。
 - 地域のFM放送局が混信するときは、送信周波数を変更してください。
 - カーステレオの自動選局では設定した送信周波数で止まらない場合があります。手動選局で周波数を合わせてください。
 - FMトランスミッターの音声はハイダウエイユニットの設置場所によって聞き取りにくい場合があります。



■ オートスクロールの設定

SCROLL にタッチするごとにCDテキスト/MDタイトルのスクロール設定が『ON』（自動的に繰り返しスクロール表示）と『OFF』（手動でスクロール表示）に切り替わります。『AUTO』に設定するとテキストやタイトルを繰り返しスクロール表示します。



■ オンスクリーンの設定

On Screen にタッチするごとにオンスクリーン機能の設定が『AUTO』と『MANUAL』に切り替わります。

- 『AUTO』に選択すると
本機やセンターユニット、リモコンのボタンを操作したときやディスクの曲が切り替わったときなどにオーディオソースや映像の状況などを一時的に映像に重ねて表示します。
- 『MANUAL』に選択すると
テレビやビデオ映像時に画面の中央下部にタッチするとオーディオソースや映像の状況、ビデオアウトの設定などを映像に重ねて表示します。再び画面の中央下部にタッチすると表示が消えます。

■ デモンストレーションの設定

DEMO にタッチするごとにデモンストレーションの設定が『ON』（する）と『OFF』（しない）に切り替わります。『ON』にするとグラフィック画面の背景モードを繰り返し切り替えて表示します。

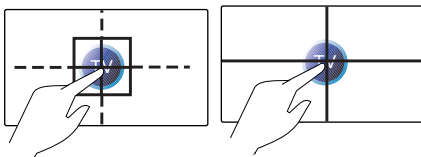
■ ビープ音の設定

BEEP にタッチするごとに本機やセンターユニット操作時の確認音（ビープ音）が『ON』（鳴らす）と『OFF』（鳴らさない）に切り替わります。

■ ポイントマーカーの設定

Point Marker にタッチするごとに、グラフィック画面にタッチしたときのマーカー表示の設定が『TYPE-1』、『TYPE-2』、『OFF』（マーカーを表示しない）に切り替わります。

マーカー-TYPE-1 マーカー-TYPE-2



■ FMダイバシティの設定

FM DIV にタッチするごとに接続しているセンターユニット、またはA707のダイバシティ機能が『ON』（使う）と『OFF』（使わない）に切り替わります。



A707、MZ-BUSセンターユニット以外のセンターユニットに接続している場合は、表示されません。センターユニットで設定してください。

■ システムセットアップの終了

RTN にタッチするとメニュー画面に戻ります。

セットアップ画面の操作

時計調整画面の操作

CLOCK にタッチすると時計調整画面に切り替わります。



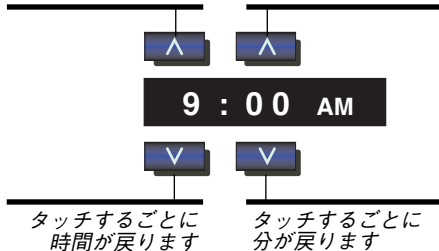
タッチパネルの操作

● 時計の調整

下記のように“時間”と“分”が調整できます。

タッチするごとに
時間が進みます

タッチするごとに
分が進みます



● 時報合せ

RESET にタッチすると分が“00”になりカウントをはじめます。

メモ

“分”が30分以上の場合は、下記のように時間がぐり上がった“00”分になります。

- 1:01PM ~ 1:29PM → 1:00PM
- 1:30PM ~ 1:59PM → 2:00PM

● 時計調整の終了

RTN にタッチすると時計調整を終了して、メニュー画面に戻ります。

メモ

- MZ-BUSセンターユニット以外のセンターユニットに接続している場合は本機での時計調整はできません。センターユニットで調整してください。
- SYSTEM にタッチするとシステム画面に戻りません。

タッチパネル調整画面の操作

TOUCH にタッチするとタッチパネル調整画面に切り替わります。



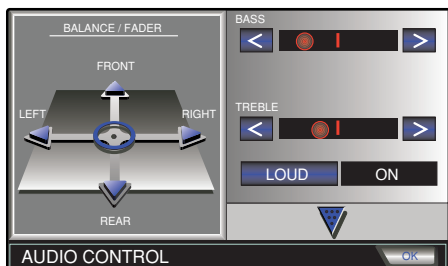
タッチパネル調整は、タッチした場所と実際の動作が正しく合わない場合に補正する機能です。メッセージにしたがい左下のマークと右上のマークを正確にタッチしてください。右上のマークをタッチした時点で調整が終了し、システム画面に戻ります。

メモ

- 左下のボタンにタッチしないで CANCEL にタッチした場合は何も補正しないで調整画面に切り替える前の画面に戻ります。
- 左下のボタンにタッチした後に CANCEL にタッチすると、左下のボタンが再度表示されます。
- RESET にタッチすると、お買い上げ時の設定になりシステム画面に戻ります。

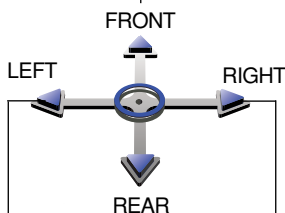
オーディオコントロール画面の操作

接続するセンターユニットにより調整できる機能および動作が異なります。機能および動作については接続しているセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。



■ バランス/フェダーの調整

タッチするごとにフロント側の音が強調されます。



タッチするごとに左側の音が強調されます。

タッチするごとに右側の音が強調されます。

タッチするごとにリア側の音が強調されます。

メモ 接続するセンターユニットにより操作できない場合があります。

■ 低音の調整 (BASS)



タッチするごとに低音域のレベルが下がります。

タッチするごとに低音域のレベルが上がります。

■ 高音の調整 (TREBLE)



タッチするごとに高音域のレベルが下がります。

タッチするごとに高音域のレベルが上がります。



- MZ-BUS/MX-BUS以外のセンターユニットを接続している場合は操作できません。
- DSPユニットを接続している場合は、『NON-FAD BASS』、および『NON-FAD TREBLE』の表示になり、ノンフェーダー出力の音質調整になります。フロント/リアの音質は37ページのイコライザーで調整してください。
- A707やMZ907とDSPユニットを接続してA707やMZ907のプリアウト出力を『REAR』に設定している場合は、本機能を操作してもなにも変わりません。

■ ラウドネス

LOUD にタッチするごとに、ラウドネスが『ON』(使う)と『OFF』(使わない)に切り替わります。『ON』に設定すると低音と高音が強調された音になります。



FM/AM放送を聴いているときは、低音のみ強調された音になります。

■ 設定リストの切り替え

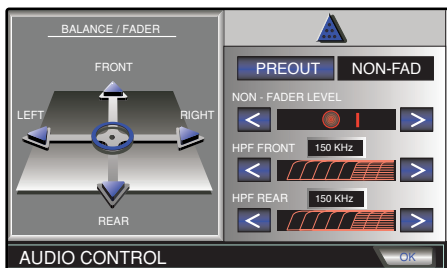
▼ にタッチすると次の調整リスト (22ページ) に切り替わります。



接続するセンターユニットにより ▼ は表示されません。

■ オーディオコントロールの終了

OK にタッチするとメニュー画面に戻ります。



タッチパネルの操作

■ プリアウトの切り替え

「PREOUT」にタッチするごとに、プリアウトの設定が『NON-FAD』（ノンフェーディング出力）と『REAR』（リア出力）に切り替わります。

メモ ノンフェーディング出力が独立しているセンターユニットに接続している場合は表示されません。

■ ノンフェーディングレベルの調整



タッチするごとに、ノンフェーディング出力のレベルが小さくなります。

タッチするごとに、ノンフェーディング出力のレベルが大きくなります。

メモ 「プリアウトの切り替え」で『REAR』を選択している場合は表示されません。

■ フロントHPF周波数の設定 (HPF FRONT)



タッチするごとに、フロント側のHPF周波数が低い方に切り替わります。

タッチするごとに、フロント側のHPF周波数が高い方に切り替わります。

■ リアHPF周波数の設定 (HPF REAR)



タッチするごとに、リア側のHPF周波数が低い方に切り替わります。

タッチするごとに、リア側のHPF周波数が高い方に切り替わります。

メモ

- A707およびMZ-BUSセンターユニット接続時は、HPF周波数をOFF(HPFオフ)、40Hz、60Hz、80Hz、100Hz、120Hz、150Hz、180Hz、220Hzから選択することができます。
- センターユニットと接続している場合の切り替わる周波数はセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

■ 設定リストの切り替え

▲ にタッチすると前の設定リスト（21ページ）に切り替わります。

■ オーディオコントロールの終了

OK にタッチするとメニュー画面に戻ります。

ソースコントロール画面の共通操作



□コントロールA画面



□コントロールB画面

■ コントロール画面切り替え

にタッチするとコントロールB画面に切り替わります。

にタッチするとコントロールA画面に切り替わります。

コントロールBはコントロールAに比べ操作できる機能が増えます。

メモ 1度コントロール画面A/Bを切り替えると、他のソースに切り替えても選択したほうのコントロール画面で表示されます。

■ ソースモードの選択

にタッチするとコントロールA画面の右側に表示されているソースモードに切り替わります。

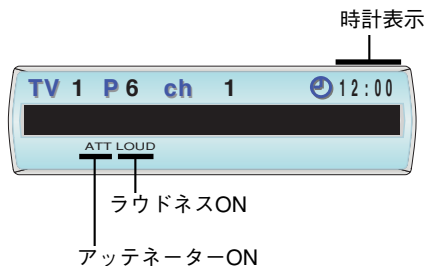
にタッチするとコントロールA画面の左側に表示されているソースモードに切り替わります。

- 切り替わるソースモードは接続している、ユニットによって異なります。
- 接続するシステムにより、 は表示されない場合があります。

■ メニュー画面の表示

画面上の にタッチするとメニュー画面に切り替わります。

各コントロール画面では、下記のインジケータが共通して表示されます。その他表示については、各ソースコントロール画面の説明をご覧ください。



タッチパネルの操作



□コントロールA画面

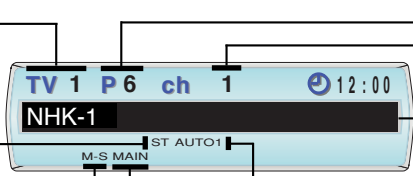


□コントロールB画面

TV 1 : TVバンド1を選択中
 TV 2 : TVバンド2を選択中
 VD 1 : ビデオ1を選択中
 VD 2 : ビデオ2を選択中

ステレオ放送受信中
 音声多重放送受信中

MAIN : 音声多重放送のメイン音声を選択中
 SUB : 音声多重放送のサブ音声を選択中



プリセットNo.
 受信チャンネル
 ステーションネーム(SNPS)
 AUTO1 : チューニングモードがAUTO1
 AUTO2 : チューニングモードがAUTO2
 MANUAL : マニュアルチューニング

■ TVバンドの切り替え

<TVに切り替える>

TV にタッチするごとにTVバンドがTV1とTV2に切り替わります。

■ ビデオ入力の切り替え

<ビデオに切り替える>

VD にタッチするごとにビデオ入力がビデオ1とビデオ2に切り替わります。

■ チューニングモードの切り替え

<選局方法を選ぶ>

SEEK にタッチするごとにチューニングモードが以下のように切り替わります。



■ 選局 <放送局を選ぶ>

- チューニングモードがAUTO 1のとき
 - TV** にタッチするとチャンネルの高い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。
 - VD** にタッチするとチャンネルの低い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。
- チューニングモードがAUTO 2のとき
 - TV** にタッチするごとにプリセットNo.の大きい方へ切り替わります。
 - VD** にタッチするごとにプリセットNo.の小さい方へ切り替わります。
- チューニングモードがMANUALのとき
 - TV** にタッチするごとに1チャンネルが高くなります。
 - VD** にタッチするごとに1ステップずつチャンネルが低くなります。

■ マニュアルメモリー

<好みの放送局をメモリーする>

① ● ● ● ⑥ に2秒以上タッチし続けると、タッチした番号に現在受信中の放送局をメモリーします。

■ オートメモリー

<受信状態の良い放送局を自動的にメモリーする>

1. **AME** にタッチするとオートメモリースタンバイモードになります。
2. **⏪** または **⏩** にタッチするとオートメモリーを開始します。
現在選択しているバンドに最大6局まで自動的にメモリーします。



6局をメモリーするか、チャンネルを一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。

■ メモリーコール

<メモリーした放送局を呼び出す>

① ● ● ● ⑥ にタッチするとマニュアルまたはオートでメモリーした放送局に切り替わります。

■ メイン/サブ音声の切り替え

<音声多重放送のメインとサブ音声を切り替える>

MAIN にタッチするごとに音声多重放送の音声が『MAIN』（メイン音声）と『SUB』（サブ音声）に切り替わります。



メイン/サブ音声の切り替えは、音声多重放送を受信してM-Sインジケータが表示されている場合に行えます。

■ テレビリスト画面の表示

<プリセットバンドの情報を見る>

LIST にタッチすると、TVリスト画面に切り替わります。



バンドリスト

テレビリスト画面の操作

■ リストの切り替え

<プリセットバンドリストを切り替える>

▼ または ▲ にタッチすると、リストがTV1バンドとTV2バンドに切り替わります。

■ リストの選択

<リストから放送局を選ぶ>

① ● ● ● ⑥ にタッチすると、表示されているバンドリストのプリセットチャンネルに切り替わります。

■ 選局 <放送局を選ぶ>

⏪ または ⏩ にタッチするとコントロール画面と同様に選局ができます。

■ ネームセット画面の切り替え

<現在受信している放送局にネームを付ける (SNPS)>

NAVIE に2秒以上タッチすると、ネームセット画面 (38ページ) に切り替わります。



パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。

■ テレビリスト画面の終了

RTN にタッチすると、コントロールB画面に戻ります。

FM/AMコントロール画面の操作



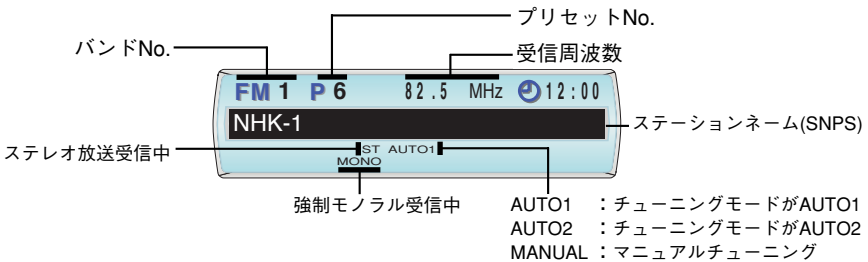
□コントロールA画面



□コントロールB画面

操作説明はA707を接続している場合の操作です。センターユニットを接続している場合は切り替わるバンド数や選局、オートメモリーの操作はセンターユニットでのボタン操作と同様になります。

タッチパネルの操作



■ FMバンドの切り替え

<FMに切り替える>

FM にタッチするごとにFMバンドがFM1、FM2、FM3に切り替わります。

■ AMバンドの切り替え

<AMに切り替える>

AM にタッチするとAMバンドに切り替わります。

■ オートチューニング

<選局方法を選ぶ>

SEEK にタッチするごとにチューニングモードが以下のように切り替わります。



■ 選局 <放送局を選ぶ>

● チューニングモードがAUTO 1のとき

▶ にタッチすると周波数の高い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。

◀ にタッチすると周波数の低い方の受信状態の良い放送局を自動的に探します。

● チューニングモードがAUTO 2のとき

▶ にタッチするごとにプリセットNo.の大きい方へ切り替わります。

◀ にタッチするごとにプリセットNo.の小さい方へ切り替わります。

● チューニングモードがMANUALのとき

▶ にタッチするごとに1ステップずつ周波数の高い方へ切り替わります。

◀ にタッチするごとに1ステップずつ周波数の低い方へ切り替わります。

■ マニュアルメモリー

<好みの放送局をメモリーする>

1 ●●● 6 に2秒以上タッチし続けると、タッチした番号に現在受信中の放送局をメモリーします。

■ オートメモリー

<受信状態の良い放送局を自動的にメモリーする>

1. **AME** にタッチするとオートメモリースタンバイモードになります。
2. **MEMO** または **RTN** にタッチするとオートメモリーを開始します。
現在選択しているバンドに最大6局まで自動的にメモリーします。



- A707、MZ-BUSセンターユニット以外を接続している場合はセンターユニットの操作と同様になります。
- 6局をメモリーするか、周波数を一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。

■メモリーコール

<メモリーした放送局を呼び出す>

- 1 ●●● 6 にタッチするとマニュアルまたはオートでメモリーした放送局に切り替わります。

■ FM強制モノラル受信

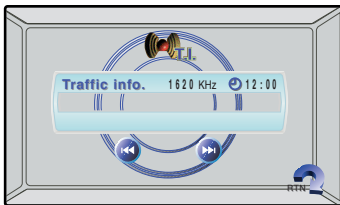
<ノイズを少なくして聴く>

- MONO** にタッチするごとに強制モノラルがオン/オフします。

交通情報の受信

<交通情報局を受信する>

- T.I.** にタッチすると交通情報局の受信画面に切り替わります。



■ 交通情報の選局 <交通情報局を選ぶ>

- または **RTN** にタッチすると受信周波数が以下のように切り替わります。

1620KHz ⇄ 1629KHz ⇄ 522KHz



- 交通情報局画面は、どのソースモードからも切り替えることができます。元のソースに戻すときは **RTN** にタッチします。
- DSPユニット接続時は、交通情報局画面を表示するとDSPの設定が一時的に解除になります。
本機のみでは選択できません。

■ チューナーリスト画面の表示

<プリセットバンドの情報を見る>

- TUNERLIST** にタッチすると、チューナーリスト画面に切り替わります。



バンドリスト

チューナーリスト画面の操作

■ リストの切り替え

<プリセットバンドリストを切り替える>

- ▼ または ▲ にタッチすると、各FM/AMバンドのリストに切り替わります。

■ リストの選択

<リストから放送局を選ぶ>

- 1 ●●● 6 にタッチすると、バンドリストのプリセットした放送局に切り替わります。

■ 選局 <放送局を選ぶ>

- ◀ または ▶ にタッチするとコントロール画面と同様に選局ができます。

■ ネームセット画面の切り替え

<現在受信している放送局にネームを付ける (SNPS)>

- NAME** に2秒以上タッチすると、ネームセット画面 (38ページ) に切り替わります。



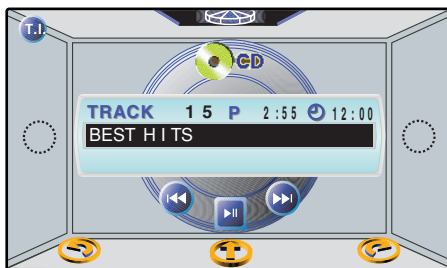
パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。

■ チューナーリスト画面の終了

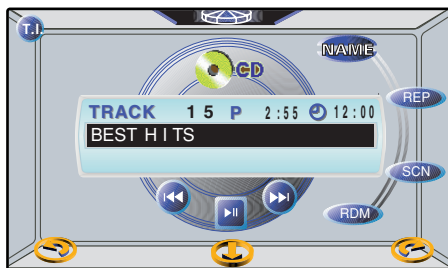
- RTN** にタッチすると、コントロールB画面に戻ります。

タッチパネルの操作

CDコントロール画面の操作



□コントロールA画面



□コントロールB画面

タッチパネルの操作



■ポーズ <演奏を一時停止する>

▶II にタッチすると、表示がピンク色になりCDプレイが一時停止します。一時停止中に ▶II にタッチすると、CDプレイになります。

■選曲 <曲を選ぶ>

●先の曲を選ぶ

⏪ にタッチするごとに先の曲へトラックサーチします。タッチし続けると現在の曲を早送りします。

●手前の曲を選ぶ

⏩ に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするごとに手前の曲へトラックサーチします。タッチし続けると現在の曲を早戻します。

■トラックリピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするごとにトラックリピートがオン/オフします。オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

■トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

●聴きたい曲が見つかったら SCN または ▶II にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。



現在聴いているディスクのすべての曲をスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除になります。

■トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選んで演奏する>

RDM にタッチするごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

●⏪ にタッチすると次の曲を選びます。

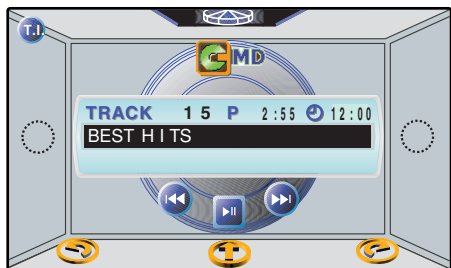
■ネームセット画面の表示

<聴いているCDにネームを付ける(DNPS)>
INAVIEW に2秒以上タッチすると、ネームセット画面(38ページ)に切り替わります。

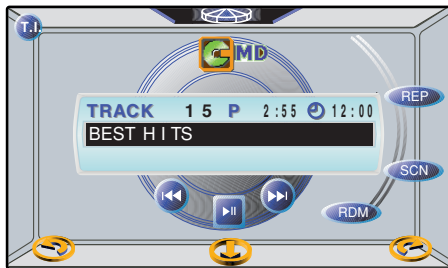


パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。

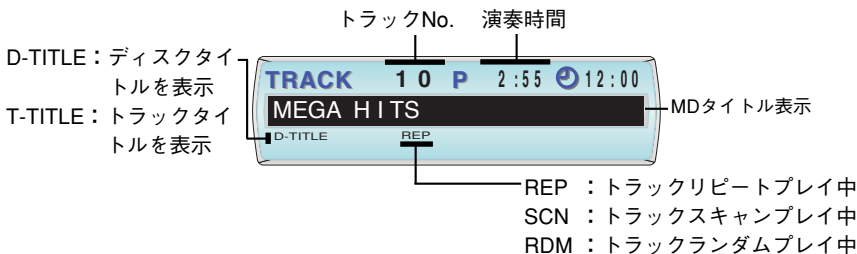
MDコントロール画面の操作



□コントロールA画面



□コントロールB画面



タッチパネルの操作

■ポーズ <演奏を一時停止する>

▶⏸ にタッチすると、表示がピンク色に変わりMDプレイが一時停止します。
一時停止中に ▶⏸ にタッチすると、MDプレイになります。

■選曲 <曲を選ぶ>

●先の曲を選ぶ

▶⏪ にタッチするごとに先の曲へトラックサーチします。
タッチし続けると現在の曲を早送りします。

●手前の曲を選ぶ

▶⏩ に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするごとに手前の曲へトラックサーチします。
タッチし続けると現在の曲を早戻します。

■トラックリピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするごとにトラックリピートがオン/オフします。
オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

■トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

●聴きたい曲が見つかったら SCN または ▶⏸ にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。



現在聴いているディスクのすべての曲をスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除になります。

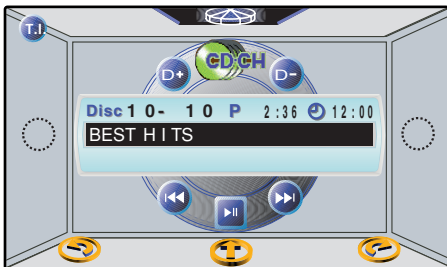
■トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する>

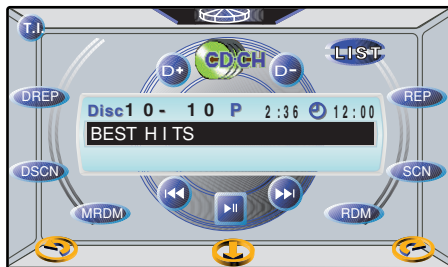
RDM にタッチするごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

●▶⏪ にタッチすると次の曲を選びます。

CD/MDチェンジャーコントロール画面の操作



□コントロールA画面 (CDチェンジャー)



□コントロールB画面 (CDチェンジャー)

タッチ
パネルの
操作

- ・CDチェンジャーの場合
DNPS: DNPSを表示
D-TEXT: ディスクテキストを表示
T-TEXT: トラックテキストを表示
- ・MDチェンジャーの場合
D-TITLE: ディスクタイトルを表示
T-TITLE: トラックタイトルを表示



■ポーズ <演奏を一時停止する>

- ▶II にタッチすると、表示がピンク色に変わりディスプレイが一時停止します。
- 一時停止中に ▶II にタッチすると、ディスクプレイになります。

■選曲 <曲を選ぶ>

●先の曲を選ぶ

- ▶II にタッチするごとに先の曲へトラックサーチします。
- タッチし続けると現在の曲を早送りします。

●手前の曲を選ぶ

- ▶II に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするごとに手前の曲へトラックサーチします。
- タッチし続けると現在の曲を早戻します。

■ディスクの切り替え

<ディスクを選ぶ>

●先のディスクを選ぶ

- D+ にタッチするごとに先のディスクへサーチします。

●手前のディスクを選ぶ

- D- にタッチするごとに手前のディスクへサーチします。

■トラックリピートプレイ

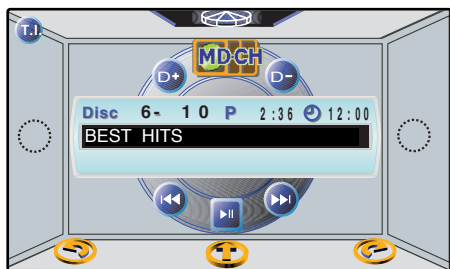
<同じ曲を繰り返し聴く>

- REP にタッチするごとにトラックリピートがオン/オフします。
- オンにすると、聴いている曲を繰り返し演奏します。

■ディスクリピートプレイ

<同じディスクを繰り返し聴く>

- DREP にタッチするごとにディスクリピートがオン/オフします。
- オンにすると、聴いているディスクを繰り返し演奏します。



□コントロールA画面 (MDチェンジャー)



□コントロールB画面 (MDチェンジャー)

■トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

●聴きたい曲が見つかったら **SCN** または **▶||** にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

メモ 現在聴いているディスクのすべての曲をスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除になります。

■ディスクスキャンプレイ

<聴きたいディスクを探す>

DSCN にタッチするとディスクスキャンプレイがオンになり、ディスクマガジンにセットされているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

●聴きたいディスクが見つかったら **DSCN** または **▶||** にタッチします。ディスクスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

メモ 現在聴いているディスクのすべての曲をスキャンすると、ディスクスキャンプレイは解除になります。

■トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する>

RDM にタッチするごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンになると自動的に曲を選んで演奏します。

● **▶||** にタッチすると次の曲を選びます。

■マガジンランダムプレイ

<マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する>

MRDM にタッチするごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンになると、ディスクマガジンにセットされているディスクから自動的に曲を選んで演奏します。

● **▶||** にタッチすると次の曲を選びます。

タッチパネルの操作

ディスクリスト画面の操作



□ディスクリスト画面 (CDチェンジャー)



□ディスクリスト画面 (MDチェンジャー)

タッチパネルの操作

■ リストの切り替え

<リストを切り替える>

▼ にタッチするとディスクNo.7以降のリストを表示します。

10枚ディスクチェンジャーを選択している場合に表示されます。

■ リストを選ぶ

<リストからディスクを選ぶ>

① ● ● ● ● ⑥ または ⑦ ● ● ● ● ⑩ にタッチすると、その番号のディスクに切り替わります。

■ CDテキスト/DNPSの表示

CDチェンジャーリストのときは にタッチするごとに、リストの表示をDNPS表示とCDテキストのディスクタイトルに切り替えます。

-
- テキストが記録されていないCDは『No Text』と表示されます。
 - ネームが登録されていないCDは『No Name』と表示されます。
 - タイトルが記録されていないMDは『No Title』と表示されます。
 - マガジンにディスクが入っていない場合は『No Disc』と表示されます。
 - 1度も演奏していないディスクは『No Access!』と表示されます。
 - マガジンを入れ換えたときは、1度ディスクを演奏しないとディスクネーム/タイトル/テキストは認識されません。このようなときは、ディスクスキャンするなどして演奏してください。ディスクネーム/タイトル/テキストを表示できるようになります。

■ ネームセット画面の表示

<聴いているCDにネームを付ける(DNPS)>

CDチェンジャーリストのときは に2秒以上タッチすると、ネームセット画面 (38ページ) に切り替わります。

-
- パーキングブレーキを引かないと、ネームセット画面には切り替わりません。
 - MDにはネームを登録することはできません。

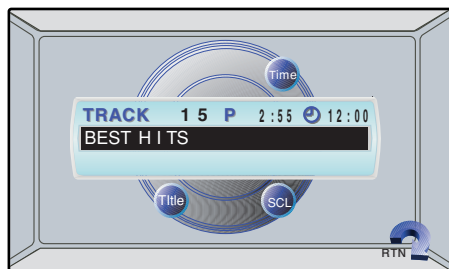
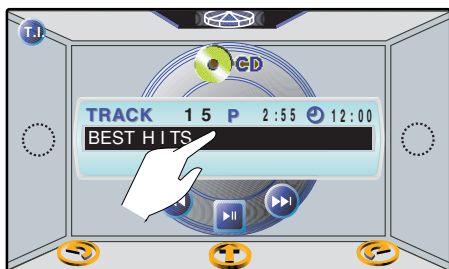
■ ディスクリスト画面の終了

にタッチすると、コントロールB画面に戻ります。

CD/MDディスプレイ切り替え画面の操作

■ ディスプレイ切り替え画面の表示

コントロール画面中央の表示部にタッチすると、ディスプレイ切り替え画面に切り替わります。



■ CD演奏時間の切り替え

Time にタッチするごとにCDの演奏時間表示が下記のように切り替わります。

- ▶ P: トラック演奏時間
- ▼ A: トータル演奏時間
- ▼ R: トータル残り時間

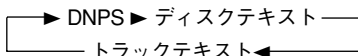
メモ MD演奏時は切り替えはできません。トラック演奏時間表示のみです。

CD、MD、CD/MDチェンジャーコントロール画面では演奏時間やタイトル、テキスト、ディスクネームの切り替えはディスプレイ切り替え画面で行います。

■ テキスト表示の切り替え

Title にタッチするごとに表示が下記のように切り替わります。

● CD演奏時は



メモ

- テキストが記録されていないCDは、「No Text」と表示されます。
- ディスクネーム(DNPS)が登録されていないCDは、「No Name」と表示されます。

● MD演奏時は

ディスクタイトル ◀ ▶ トラックテキスト

メモ

- タイトル記録されていないMDは、「No Title」と表示されます。
- タイトルに日本語も記録されている場合は、日本語のみの表示になります。

■ テキスト/タイトルの表示モード切り替え

● セットアップ画面のスクロール設定が『ON』のときは

SCL にタッチするとテキストやタイトルの最初の16文字を5秒間表示します。5秒たつとテキストやタイトルが繰り返しスクロール表示します。

● セットアップ画面のスクロール設定が『OFF』のときは

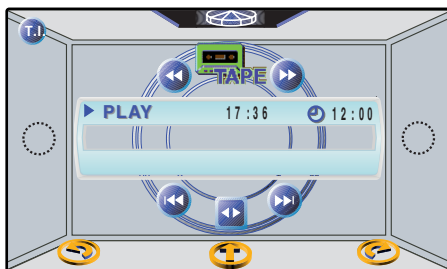
SCL にタッチするとテキストやタイトルの全文字を1回スクロール表示します。

■ ディスプレイ切り替え画面の終了

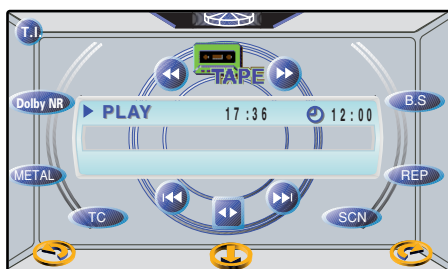
RTN にタッチすると、コントロールB画面に戻ります。

タッチパネルの操作

テープコントロール画面の操作



□コントロールA画面



□コントロールB画面

- ▶ : フォワードプレイ
- ◀ : リバースプレイ

テープカウンター

タッチパネルの操作



■ 走行方向の切り替え

- ▶◀ にタッチするごとにテープの走行をフォワードプレイ、リバースプレイに切り替えます。

■ 選曲

(DPSS-ダイレクトプログラムサーチシステム)

- 先の曲を選ぶ
 - ▶ にタッチするごとに飛び越す曲数(最大9曲まで)が表示され、指定した曲の先頭へ早送りし自動的に演奏が始まります。
- 手前の曲を選ぶ
 - ◀ に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするごとに飛び越す曲数(最大9曲まで)が表示され、指定した曲の先頭へ巻戻り自動的に演奏が始まります。
 - 途中で解除したいときは ▶◀ にタッチします。

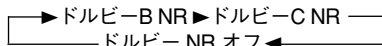
■ 早送り/巻き戻し

- 早送りする
 - ▶ にタッチするとテープを早送りします。
- 巻き戻しする
 - ◀ にタッチするとテープを巻戻しします。
 - 解除するときは ▶◀ にタッチします。

■ ドルビー-B/C NR

<ドルビー-B/C NRを使って録音されたテープを聴く>

Dolby NR にタッチするごとにドルビー-NRシステムが下記のように切り替わります。



メモ 999
 ドルビー-C NRシステムを搭載していないテーププレイヤーに接続している場合はドルビー-B NRシステムのオン/オフのみになります。

■ テープセレクター

＜メタル／クロームテープを聴く＞

METAL にタッチするごとにテープタイプがメタル (TYPE IV) / クローム (TYPE II) ポジションとノーマル (TYPE I) ポジションに切り替わります。

メモ テープタイプ自動検出機能があるテーププレイヤーと接続している場合は表示されません。

■ リピートプレイ

＜同じ曲を繰り返し聴く＞

REP にタッチするごとにリピートがオン/オフします。
オンにすると、聴いている曲を繰り返し演奏します。

■ インデックススキャンプレイ

＜聴きたい曲を探す＞

SCN にタッチするとインデックススキャンプレイがオンになり、曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭まで早送りして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

● 聴きたい曲が見つかったら **SCN** または **◀▶** にタッチします。インデックススキャンプレイが解除になり通常のプレイに戻ります。

■ ブランクスキップ

＜無録音部分をスキップする＞

B.S にタッチするごとにブランクスキップをオン/オフします。
オンにすると、10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。

- メモ**
- DPSS、リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で録音レベルが非常に小さい部分が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
 - ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。通常お買い上げ時はオンの設定になっています。

■ チューナーコール

TC にタッチするごとにチューナーコールをオン/オフします。
オンにすると、テープの早送り/巻き戻し中は音声でFM/AMチューナーに切り替わります。

- メモ**
- チューナーコール機能のないテーププレイヤーと接続している場合は表示されません。
 - オートアンテナ仕様車ではチューナーコールがオンのときアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをオフにしてください。

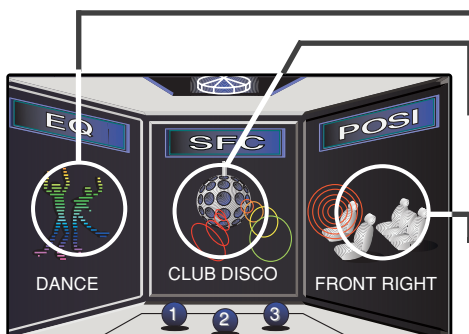


DSPコントロール画面の操作

各機能の動作については、接続しているDSPユニットの取扱説明書をご覧ください。

DSPセレクト画面の操作

タッチパネルの操作



■ ユーザーメモリー

● 現在のDSP設定をメモリーする

① ② ③ のいずれかに2秒以上タッチすると、タッチしたメモリー番号に現在の各DSP設定がメモリーされます。

● 設定したメモリーを呼び出す。

① ② ③ のいずれかにタッチするとメモリーされた各DSP設定に切り替わります。

■ DSPセレクト画面の終了

画面上の にタッチするとメニュー画面に戻ります。

■ イコライザーモードの切り替え

タッチするごとに設定されている各イコライザーモードに切り替わります。

■ SFCモードの切り替え

タッチするごとに設定されている各SFC（サウンドフィールドコントロール）モードが切り替わります。

■ ポジションモードの切り替え

タッチするごとにルームポジションが切り替わります。

■ SFCコントロール画面の表示

にタッチすると、SFC（サウンドフィールドコントロール）画面に切り替わります。

■ ポジションコントロール画面の表示

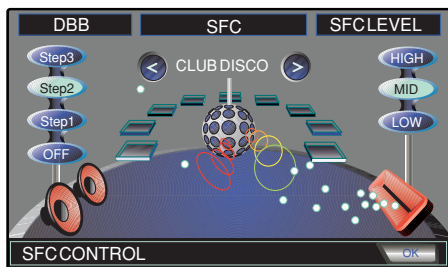
にタッチすると、ポジションコントロール画面に切り替わります。

■ イコライザーコントロール画面の表示

にタッチすると、イコライザーコントロール画面に切り替わります。

MZ-BUSシステム以外のDSPユニットを接続している場合は各コントロール画面を表示することはできません。

SFCコントロール画面の操作



■ DSPバスブーストレベルの調整

にタッチするとブーストする帯域が大きくなります。

にタッチするとブーストする帯域が狭くなります。

にタッチするとバスブーストを解除します。

■ SFCモードの切り替え

または にタッチするごとにSFCモードが切り替わります。

■ SFCレベルの調整

にタッチするとDSP効果が大きくなります。

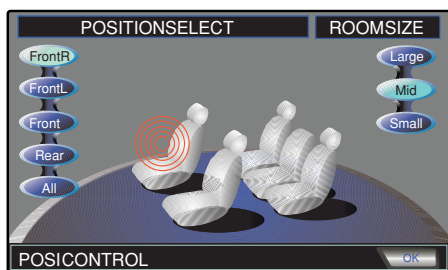
にタッチするとDSP効果が小さくなります。

SFCモードが『BYPASS』に設定されている場合はSFCレベル、DSPバスブーストの調整はできません。

■ SFCコントロール画面の終了

にタッチするとDSPセレクト画面に戻ります。

ポジションコントロール画面の操作



■ ルームサイズの設定

- **Large** にタッチすると1BOX、RV車の設定になります。
- **Mid** にタッチするとセダンの設定になります。
- **Small** にタッチするとコンパクトカーの設定になります。

メモ ポジションをALLに設定している場合は、ルームサイズの設定はできません。

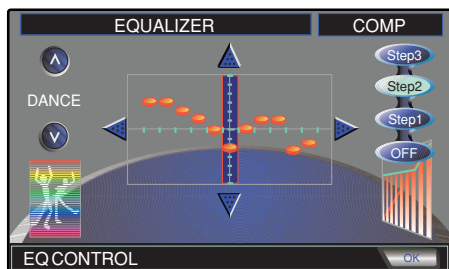
■ ポジションの設定

- **FrontR** にタッチすると前部座席の右側が音場の中心になります。
- **FrontL** にタッチすると前部座席の左側が音場の中心になります。
- **Front** にタッチすると前部座席が音場の中心になります。
- **Rear** にタッチすると後部座席が音場の中心になります。
- **All** にタッチすると車室の中央が音場の中心になります。

■ ポジションコントロール画面の終了

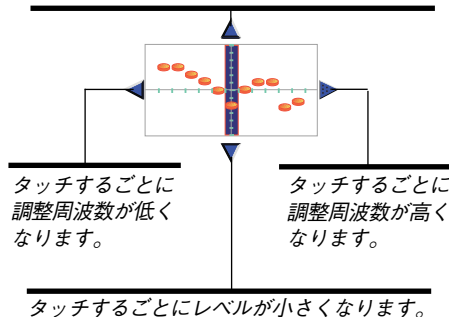
OK にタッチするとDSPセレクト画面に戻ります。

イコライザーコントロール画面の操作



■ イコライザーの調整

タッチするごとにレベルが大きくなります。



■ イコライザーモードの切り替え

▲ または ▼ にタッチするごとにイコライザーモードが切り替わります。

■ コンプレッションレベルの調整

- **Step 3** にタッチすると圧縮率が大きくなります。
- **Step 2** にタッチすると圧縮率が小さくなります。
- **Step 1** にタッチすると圧縮率が小さくなります。
- **OFF** にタッチするとコンプレッションを解除します。

■ イコライザーコントロール画面の終了

OK にタッチするとDSPセレクト画面に戻ります。

ネームセット画面の操作

ネームを付けたい放送局を選局、またはCDを演奏してから、ネームセット画面に切り替えてください。



タッチ
パネルの
操作

■ 文字入力カーソルの移動

- にタッチするごとに入力カーソルが右に移動します。
- にタッチするごとに入力カーソルが左に移動します。

■ 文字種の選択

- **英数** にタッチすると「英数字/記号」のリストが表示されます。
- **かな** にタッチすると「かな」のリストが表示されます。
- **カナ** にタッチすると「カタカナ」のリストが表示されます。

■ 文字リストの切り替え

▼ または ▲ が表示されている場合はタッチすると文字リストが切り替わります。

■ 文字の入力

表示されている文字にタッチすると文字が入力されカーソルが右に移動します。



- 文字は16桁まで入力できます。
- ステーションネーム (SNPS) はFM/AM、TVの各30局まで登録できます。31局目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。
- 本機でCDに登録できるディスクネーム (DNPS) の枚数は100枚までです。101枚目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。
- 登録中にパーキングブレーキを解除したり、放送局をかえる、CDをイジェクト、またはCDが入れ替わった場合は入力途中の文字を登録し、ネームセット画面は終了します。



本機で登録したネームは、センターユニットには表示されません。またセンターユニットで登録したネームは本機には表示されません。


■ スペースの入力

スペースを入力するときは **SPACE** にタッチすると空白を入力して右にカーソルが移動します。

■ ネームの登録

● にタッチすると入力した文字を登録してソースコントロール画面に戻ります。

■ 漢字の入力

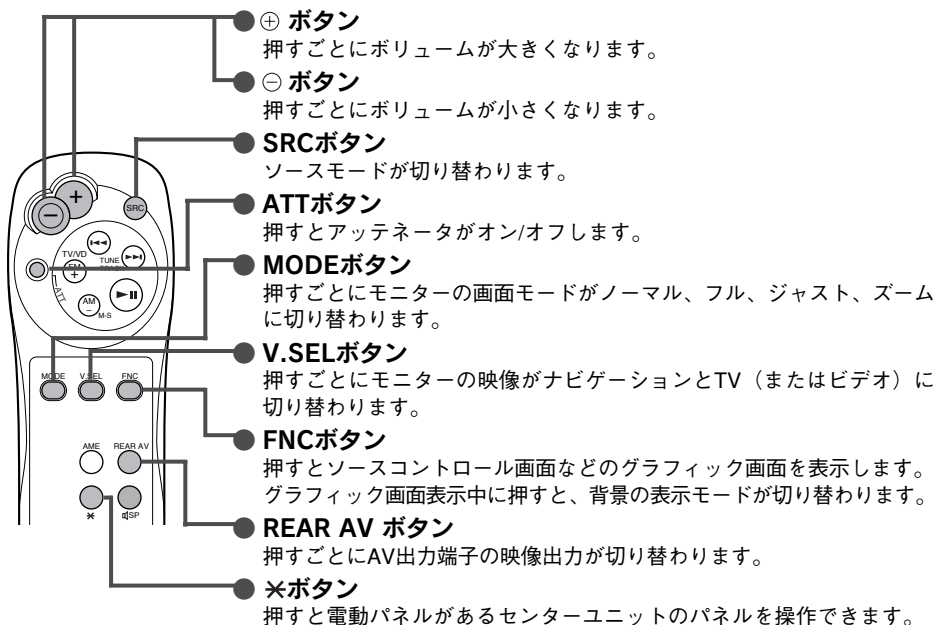
1. **漢字** にタッチします。
「かな」リストが表示されます。
- 
2. 入力したい漢字の音読みの最初の1文字を入力します。
読みの「漢字」リストが表示されます。



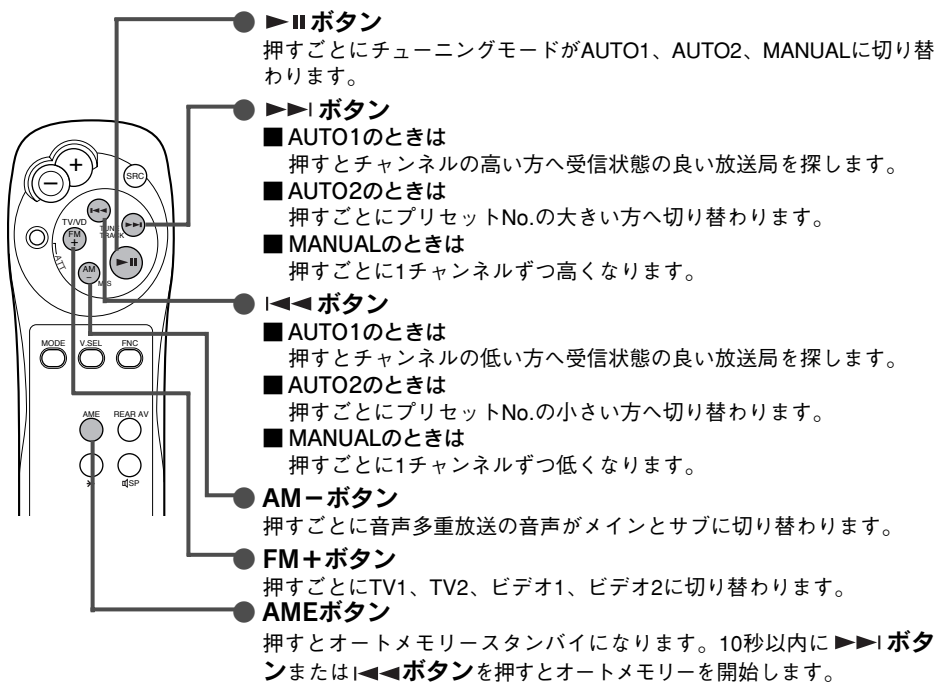
3. 表示されている漢字にタッチすると文字が入力されカーソルが右に移動します。



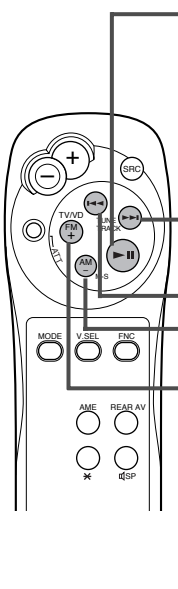
■基本の操作



■TVの操作



■FM/AMの操作.....



▶▶II ボタン
 押すごとにチューニングモードがAUTO1、AUTO2、MANUALに切り替わります。(A707接続時の場合)

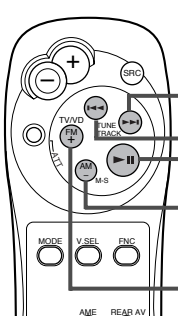
▶▶I ボタン
■AUTO1のときは
 押すと周波数の高い方の受信状態の良い放送局を探します。
■AUTO2のときは
 押すごとにプリセットNo.の大きい方に切り替わります。
■MANUALのときは
 押すごとに周波数が1ステップずつ高くなります。

I◀◀ ボタン
■AUTO1のときは
 押すと周波数の低い方の受信状態の良い放送局を探します。
■AUTO2のときは
 押すごとにプリセットNo.の小さい方に切り替わります。
■MANUALのときは
 押すごとに周波数が1ステップずつ低くなります。

AM- ボタン
 押すとAMバンドに切り替わります。

FM+ ボタン
 押すとFMバンドに切り替わります。

■CD/MDの操作.....



▶▶I ボタン
 押すごとに先の曲へトラックサーチします。

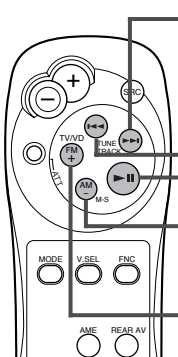
I◀◀ ボタン
 1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。

▶▶II ボタン
 演奏のプレイ/ポーズができます。

AM- ボタン (ディスクチェンジャー時)
 押すごとに手前のディスクへサーチします。

FM+ ボタン (ディスクチェンジャー時)
 押すごとに先のディスクへサーチします。

■テープの操作.....



▶▶I ボタン
 押すごとに、先の曲へDPSSします。

I◀◀ ボタン
 1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに、手前の曲へDPSSします。

▶▶II ボタン
 押すごとにテープのフォワード/リバースプレイが切り替わります。DPSS中や巻き戻し/早送り中に押すと、通常のプレイに戻ります。

AM- ボタン
 押すと巻き戻しします。

FM+ ボタン
 押すと早送りします。

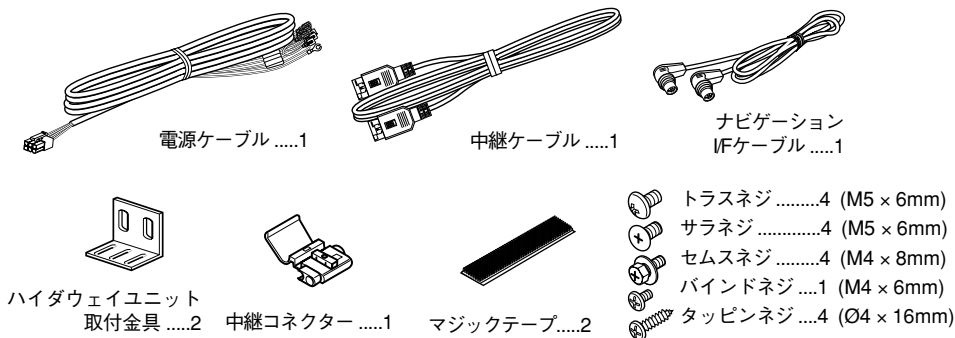
取り付け/接続時のご注意

■ 取り付け時のご注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。
 - 以下の場所には取り付けないでください。
・不安定な場所 ・運転操作の妨げになる場所 ・高温になる場所 ・水のかかる場所
- 別売品のTVアンテナを取り付ける際は車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。

■ 付属の取付/接続部品について

本機には以下の取付/接続に使用する部品が付属しております。取付/接続前にご確認ください。



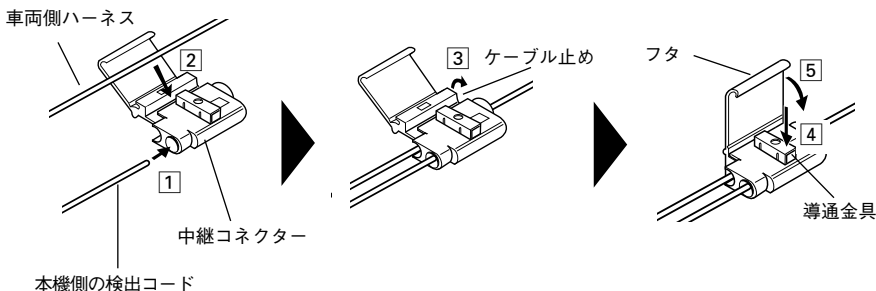
■ 接続時のご注意

- 本製品はDC12V、マイナスアース専用です。これ以外の電源には接続しないでください。
- ショート事故防止のため、取り付け作業時はバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。

■ 中継コネクターの使用方法

パーキングケーブルを付属の中継コネクターを使用して接続する際は下記のように行ってください。

- ① 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
- ② 本機側のパーキングブレーキ検出コードを中継コネクターに差し込みます。
- ③ ケーブル止めをロックします。
- ④ プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- ⑤ 最後にフタをロックします。



取り付けかた

■本体の取り付け

付属のトラスネジまたはサラネジ (M5 × 6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

バインドネジ (M4 × 6mm)
(付属)

別売品のワイヤリングキット
にアースコードがある場合
は本機背面に付属のバイン
ドネジで固定します。

車両ブラケットなど

トラスネジ
またはサラネジ
(M5 × 6mm) (付属)

本体

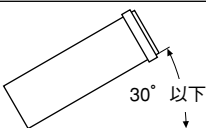
トラスネジ
またはサラネジ
(M5 × 6mm) (付属)

付
録



注意

- 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると製品が正しく動作しない場合があります。
- パネル部を持って取り付けや取り外しをしないでください。破損することがあります。



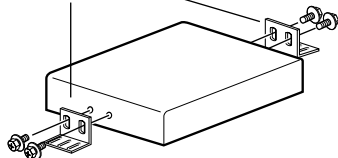
別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカーオーディオカタログをご覧ください。

■ハイダウェイユニットの取り付け

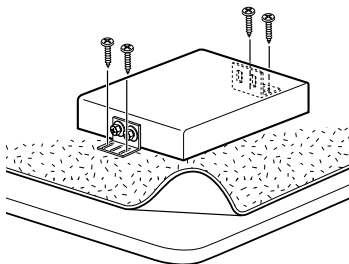
● オーディオボードへの固定

1. 取り付け金具をハイダウェイユニットの両側にセムスネジ(M4×8mm)で固定します。
2. タッピンネジ(Ø4×16mm)を使用してオーディオボード等に固定します。

取り付け金具

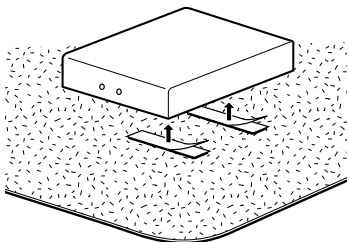


セムスネジ
(M4×8mm)

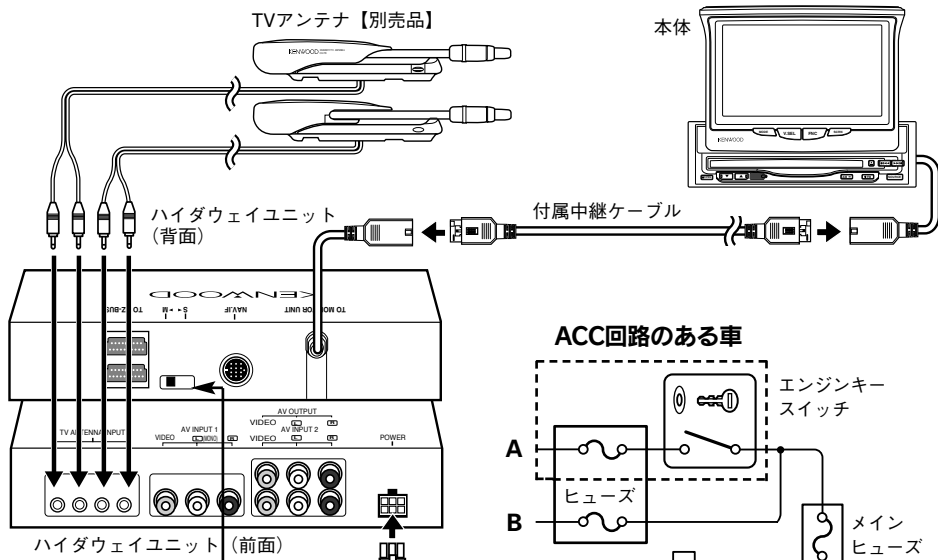


● パイルカーペットへの固定

マジックテープのはくり紙をはがし、ハイダウェイユニット底面に貼り、パイルカーペットに固定します。



接続のしかた（本機の接続）

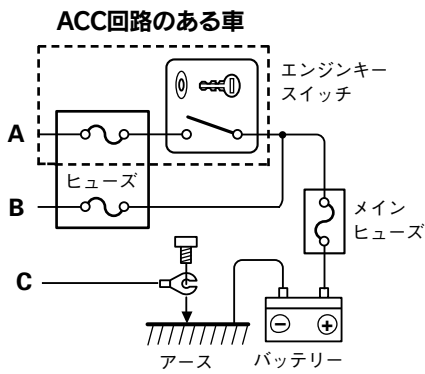


注意

"M-S"スイッチは以下のように設定してください。

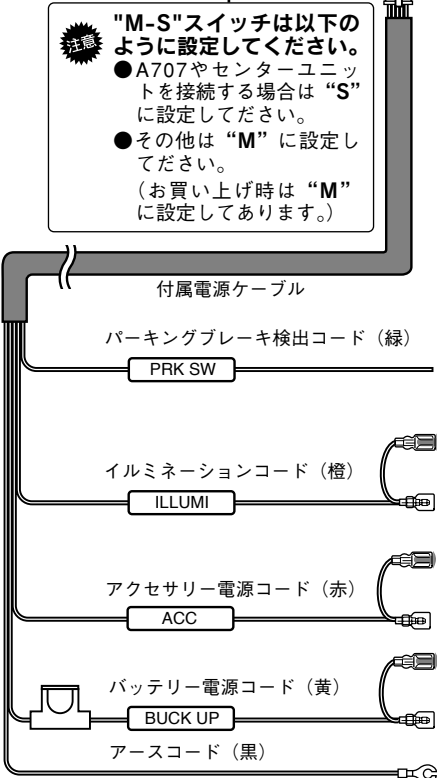
- A707やセンターユニットを接続する場合は" S "に設定してください。
- その他は" M "に設定してください。

(お買い上げ時は" M "に設定してあります。)



注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合は、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。



付属の中継コネクタを使用して車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

他のセットのイルミネーションコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。

他のセットのアクセサリコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。キースwitchでオン/オフできる電源へ接続します。→ **A**

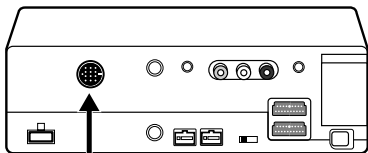
他のセットのバッテリー電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。バッテリー電源へ接続します。→ **B**

車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。→ **C**

付録

接続のしかた（他機器との接続）

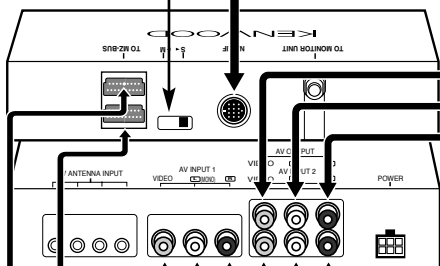
GZ-1000/GZ-500



注意 "M-S"スイッチは以下のように設定してください。

- A707やセンターユニットを接続する場合は "S" に設定してください。
- その他は "M" に設定してください。（お買い上げ時は "M" に設定してあります。）

付録



別モニター

映像入力端子へ接続
音声(左ch)入力端子へ接続
音声(右ch)入力端子へ接続

ビデオデッキ/バックカメラ

映像出力端子へ接続
音声(左ch)出力端子へ接続
音声(右ch)出力端子へ接続

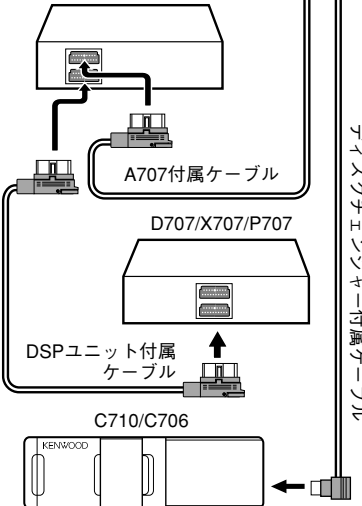
他社製ナビゲーションユニット/ビデオデッキ

映像出力端子へ接続
音声(左ch)出力端子へ接続
音声(右ch)出力端子へ接続

A707/MZ907/M707/Z707

D707/X707/P707

C710/C706



アンテナケーブル付属ケーブル

メモ

- センターユニットに接続する場合は別売品のBUSケーブルCA-11MX(1m)/CA-30MX(3m)/CA-55MX(5m)が必要です。
- MX-BUSシステムに接続する場合はCA-57ZXが必要です。
- AV IN端子に接続する機器により設定が必要です。18ページの「システム画面」の操作をご覧ください。
- モノラル音声出力のAV機器の場合はAV IN1端子のL側音声入力端子に接続してください。

! 使用しないBUS端子の保護キャップは外さないでください。



実施

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
電源が入らない	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認して、所定容量のヒューズと交換してください。
モニターが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキ検出スイッチに配線されていない。 ● パーキングブレーキを引いていない。 ● 規定以外の取付ネジを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「接続のしかた」(43ページ)に従って、正しく接続してください。 ● 安全のため、走行中はモニターを出すことはできません。パーキングブレーキを引いてOPENボタンを操作してください。 ● モニター部の取付はM5×6mmのネジをご使用ください。6mmより長いネジを使用するとモニター機構が動作しなくなります。
テレビ/ビデオの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキ検出スイッチに配線されていない。 ● パーキングブレーキを引いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「接続のしかた」(43ページ)に従って、正しく接続してください。 ● 安全のため、走行中はテレビやビデオの映像は映りません。パーキングブレーキを引くと映ります。
テレビの映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナが配線されていない。 ● 電波状態が悪い場所で受信している。 ● ナビゲーションシステムなどのコンピューター機器からの影響を受けている 	<ul style="list-style-type: none"> ● TVアンテナをハイダウェイユニットに正しく接続してください。 ● 電波状態の良い場所に移動して受信してみてください。 ● ナビゲーションシステムなどの電源をオフにしてください。 ● ナビゲーションシステムを本機からできるだけはなして設置してください。
画面が暗い	気温が低い場所に放置していた。	モニターユニットの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに液晶パネルの性質上、通常より画面が暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。

故障かな？と思ったら

こんなとき

どうして

こうします

夜間に画面が暗くならない	<ul style="list-style-type: none"> ●イルミネーションコードが配線されていない。 ●ライトを点灯していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「接続のしかた」(43ページ)に従って、正しく接続してください。 ●ライトスイッチをオンすると夜間用の画面の明るさに切り替わります。
FMラジオからテレビなどの音がでない/雑音が多い (内蔵FMトランスミッターがオンの場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●FMラジオ側の受信周波数が合っていない。 ●FMラジオの電源がオフになっているか、ボリュームをしばりすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●FMラジオの受信周波数をFMトランスミッターの設定周波数に合わせてください。 ●FMラジオの電源をオンにし、ボリュームを適度に上げてください。
FMラジオからFM放送の音がでない、または雑音が多い	FMトランスミッターがオンになっている。	FMトランスミッターをオフにするか、FMトランスミッターを聴きたい放送局に影響のない周波数に設定してください。
振動により音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●取り付け角度が30°を越えている。 ●取り付けが不安定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●30°以下の角度に調整してください。 ●しっかりと固定してください。 ●停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	CDに傷や汚れなどがついている。	<ul style="list-style-type: none"> ●「CDのお手入れ」(8ページ)を見てクリーニングしてください。 ●他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。(⇨P.29)

●システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。

BUS-E01 : A707またはセンターユニットに接続時に本機のハイダウェイユニットの"M-S"スイッチが"M"になっている。

⇨ "M-S"スイッチを"S"に切り替えてください。

BUS-E50 : センターユニットが2台以上接続されている。

BUS-E11 : DSPユニット (D707/X707/P707) が2台以上接続されている。

BUS-W02 : 接続されているディスクチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo. (1または2) になっている。

⇨ 1台のディスクチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W08 : 2台以上のTVモニターがBUSで接続されている。

ERROR 04 : ・ディスクが異常に汚れている。
・ディスクにキズが多く付いている。

H HOLD : 本機および接続しているCDプレーヤー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇨取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス（かならずお読みください。）

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。）

付録

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

モニター部

画面サイズ(W×H)
表示方式
駆動方式
画素数(V×H)
有効画素
使用光源(照明方式)

5.8型ワイド(124.8×73mm、対角144.6mm)
透過型TN型
TFTアクティブマトリクス方式
280,800個(400H×234V×RGB)
99.99%
冷陰極管

チューナー部

受信チャンネル
選局方式
復調方式
アンテナ入力
AV入力端子(RCAピンX2系統)
外部映像入力レベル
外部音声最大入力レベル
AV出力端子(RCAピンX1系統)
外部映像出力レベル
外部音声最大出力レベル
FMトランスミッター出力周波数

VHF(1~12ch)、UHF(13~62ch)
15.2dBf(1.6 μ V/75 Ω)
スプリットキャリア方式
4chダイバシティ(75 Ω /ミニジャック ϕ 3.5)

1Vp-p/75 Ω
1V/22k Ω

1Vp-p/75 Ω
500mV/1k Ω
87.5~89.9MHz(0.1MHz間隔で連続可変)

CDプレイヤー部

レーザーダイオード
デジタルフィルター(D/A)
D/Aコンバーター
回転数
ワウ/フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs($\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1Bit
500~200rpm(線速度一定)
測定限界以下
5Hz~20kHz(± 1 dB)
0.01%(1kHz)
93dB(1kHz)
93dB
85dB

その他

使用電源
最大消費電流
接地方式
使用温度範囲
保存温度範囲
寸法W×H×D
(本体)

14.4V(11V~16V)
2.3A(通常動作時1.6A)
マイナスアース方式
-10°C~60°C
-20°C~85°C

(ハイダウェイユニット)
質量(重さ)
(本体)
(ハイダウェイユニット)

外形寸法180X50X182mm
埋め込み寸法178X50X165mm
外形寸法213X40X148mm

2.0Kg
0.9Kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室(東京)電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪)電話(06)357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)

(土、日、祝祭日および当社休日は休ませさせていただきます。)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。